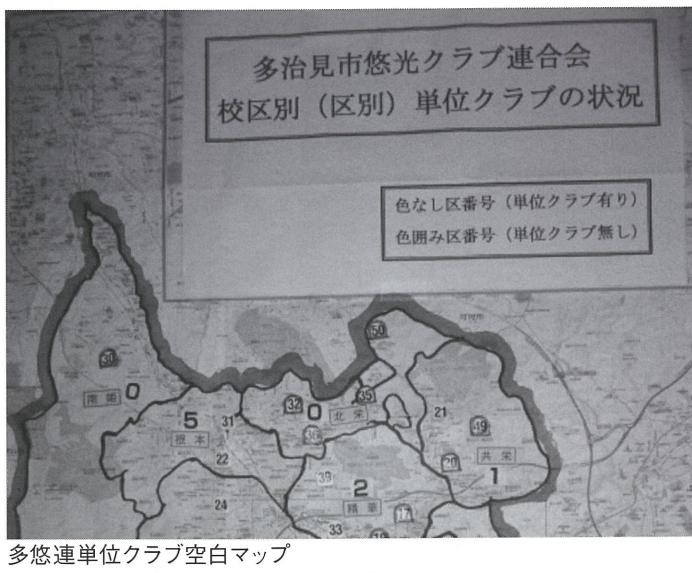




北から南から



## 今後の会員増強—永遠のテーマ

多治見の今後の会員増強を考えると深刻な事情が控えています。それは63クラブの会長の平均年齢が高く、80歳以上の会長が14人いるため、後任探しの大変さで、クラブ休会にも波及

多治見の今後の会員増強を考えると深刻な事情が控えています。それは63クラブの会長の平均年齢が高く、80歳以上の会長が14人いるため、後任探しの大変さで、クラブ休会にも波及



## 会員増強の厳しさ —自然減との戦い

平成28年4月の活動結果では、単位クラブを二つ立ち上げ、会員加入も269名ありました。しかし、残念ながら自然減や施設入所で25名減となり、実質11名の増加でした。別の方をすれば会員増強活動をしなければ、もう厳しい現実を見ることになつたかも知れません。会員の自然減は予測が立たず、活動の難しさを今更ながら思い知らされました。

しかねません。そこで団塊世代（若手）を早く加入させる努力が急務です。

以上のように種々実施してきましたが、会員増強には効果的な施策や特効薬は存在せず、あらゆる方策を繰り出し、愚直に継続的に行うしかないと考えます。従つて会員増強運動の期間が終了しても、今後の高齢社会と社会状況の変化を考えれば、連合会や単位クラブの生き残りをかけて、会員増強は続けていかざるを得ません。永遠のテーマです。

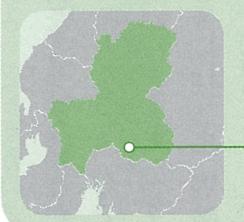
（会長 松本 勉）



# まず現状把握から 会員増への取り組み

## 岐阜県 多治見市悠光クラブ連合会

- クラブ数 63クラブ
- 会員数 3154名（男性1345名、女性1809名）



多治見市は県南東部に位置し、11万強の人口です。愛知県と隣接し、通勤圏や経済圏は愛知県の影響を受けています。

多治見市悠光クラブ連合会（略称多悠連）は、平成23年に悠光クラブに名称変更、29年で創立56年目を迎えます。28年4月の高齢化率は27・7%と高いのですが、老人クラブ加入率は減少傾向で8%台で低迷しています。こうした状況を受けて24年には「仲間づくりプロジェクト」を立ち上げました。26年からは全老連の会員増強運動に呼応して「会員増強会議」としています。

## 会員増強の考え方と現状把握

既存の「各単位クラブ」の取り組み、クラブのない「空白地区」の取り組みという二つを柱として、次のような取り組みを行いました。

1. 既存の「各単位クラブ」の取り組み
  - 単位クラブについては、会員勧誘活動がしやすいように側面から応援し、次のような施策に取り組みました。
2. 単位クラブ現状の再確認
  - 1) 単位クラブ現状の再確認
  - 2) 単位クラブ共通の会員募集チラシ作成



- 3) 会員増単位クラブに対する報奨制度確立
  - 4) 会員証発行による意識高揚と恩典制度で老人クラブ加入のメリットをPR—協力約40店舗
- 5) 各地区持ち回りグラウンド・ゴルフ大会
  - 6) 地元ケーブルTVと協定し、各単位クラブの活動状況を順次放映
- 7) 多悠連発行の広報誌及び社会福祉協議会発行の広報誌に会員勧誘の呼びかけ実施
- 8) マレットゴルフ競技の新規開催—若手の